

学園広報

One life,
Many answers



札幌学院大学
SAPPORO GAKUEN UNIVERSITY

札幌学院大学学園広報

編集・発行 札幌学院大学 企画政策課
〒069-8555 北海道江別市文京台11番地
電話 (011) 386-8111

<https://www.sgu.ac.jp>

2023年6月20日発行 | vol.135



UNIVERSITY
ACCREDITED
2022.4 - 2029.3



2023年度 入学式を挙行

大学院3研究科18名、4学部7学科767名、
合わせて785名の新入生を迎えいれました

4月1日、札幌コンベンションセンターにて2023年度入学式を挙行了しました。今年度は新入生と大学教職員のほか、3年ぶりに保護者の皆さまにもご参列いただきました。

入学式は2部構成とし、第1部では河西邦人学長の式辞に続いて、在学生代表の草野廉さん（人間科学科3年）、新入生代表の川村柚華さん（法律学科1年）からそれぞれ挨拶があり、最後に参列者全員で校歌を斉唱しました。第2部では、新入生歓迎企画として白石英才常務理事から本学のルーツである札幌文科専門学院の設立の経緯について説明と動画上映があり、新入生はそれを心に留めながら本学学生の一員としての第一歩を踏み出しました。今後の新入生の活躍を心から期待します。

【河西邦人学長式辞】

785名の皆さんを新入生として本学にお迎えすることができ、大変嬉しく思います。新型コロナウイルスの脅威も和らぎ、札幌学院大学での学生生活もほぼコロナ前の状況へ戻ります。新型コロナウイルスが猛威を振るった3年間、私たちの社会や生活は行動制限により強い影響を受けました。一方、新型コロナウイルス感染対策としてデジタル技術が活用され、社会を変えるデジタル・トランスフォーメーションが一気に進みました。札幌学院大学の教育は「One life, Many answers」のタグラインに象徴されるように、多様性を重視し、人生にも社会課題にもアンサーが複数あることを想定して行動できる力を養う教育を行っています。札幌学院大学で大いに学び、研究し、活動することで、AIが進化する時代にも活躍できる能力を獲得し、成長して下さい。



大学ブランディングプロジェクト「SGU Talk, My answers」

2020年に使用を開始した札幌学院大学ブランドを象徴するタグライン（ブランド・メッセージ）One life, Many answersを広く浸透させ、学生、教職員の皆さんに身近に感じてもらうためのイベントSGU Talk, My answersが2022年12月、新札幌キャンパス社会連携センターエントランスに設置された特設会場にて開催されました。様々な学科、学年の学生が集まり、今、興味を持って追求しているanswerの数々をパフォーマンスで、スピーチで、チームで披露しました。札幌学院大学は様々なanswersを追い求める多様な個性が集い、刺激し合うことで自分らしさをさらに磨くことができる場であることを再確認できる機会でした。イベントの様子は大学公式YouTubeチャンネルにてご覧いただけます。

登壇者一覧（所属・学年はイベント開催時のもの）

【スピーチ】

- ・ 私を救った『ワンピース』のことは 大山耀平（臨床心理学科1年）
- ・ ストレスに耐えられなくなったら ト チイティンヴァン（経営学科2年）
- ・ 「普通」とは？ 吉崎榛子（英語英米文学科3年）
- ・ 哲学～あなたを助ける言葉と人のカ～ 東屋遥希（法律学科2年）
- ・ SDGs×ジェンダー×留学 吉田優月（英語英米文学科1年）

【出演パフォーマー】

- ・ ヨーヨー演技 …… 新谷紫恩（法律学科4年）
- ・ 演 芸 …… お笑いサークル「我ら！笑学生」
櫻井翔（経営学科1年）
草野廉（人間科学科2年）
中野龍基（英語英米文学科3年）
- ・ フェアトレードサークル
…… フェアトレードコーヒーとオリジナルスイーツ
「ショコラサンド」（開発中）試食会



札幌静修高等学校と高大連携に関する協定を締結しました

札幌静修高等学校（札幌市、宮路真人校長）と本学は高大連携に関する協定を締結し、1月10日に新札幌キャンパスにて調印式を行いました。札幌静修高等学校は2022年に創立100周年を迎え、近年は世界のグローバル化に対応する「ユニバーサル科」を設置するなど、多彩な国際交流活動を展開するとともに、生徒の多様性を認め、豊かな個性を育てる教育を推進しています。また、今年度からは広域通信制も併置するなど学びの輪を広げています。

一方、本学は2021年に新札幌に新たなキャンパスを設け、留学生を積極的に受け入れるなどグローバル化を推進するとともに、心理学部においては「こころ」の専門家の育成を目指すなど、多様性を重視した教育を推進しています。

両校が連携協定を締結することで、今後はそれぞれの特色を活かしながら協働して高大接続教育を推進していきます。大学での学びを単位化するため札幌静修高等学校の生徒を科目等履修生として本学に受け入れる他、本学の教員養成教育との連携、本学教員による高校での授業、高校生と大学生が参加して行う英語キャンプ等を計画しています。



第3回学生ビジネスプランコンテストを開催

社会連携センター主催の「第3回学生ビジネスプランコンテスト」を2月25日に新札幌キャンパスにて開催しました。このコンテストは、若者に起業を身近に感じてもらう目的で2020年から開催しています。今回は本学と連携校から8チームが出場し、地域の課題解決をするためのビジネスアイデアを競い合いました。

最優秀賞に選ばれたのは札幌看護医療専門学校チーム。大きな社会問題となっているヤングケアラーを支援するために、アプリを使ったコミュニティづくりやイベント事業、配食サービス事業などへの展開を提案しました。審査員からは「ビジネスとして扱いきい分野の事業化を試みた姿勢を高く評価したい。ぜひ社会システムとして確立してほしい」との講評がありました。加藤海音さん（同校1年）からは「コンテストの受賞をバネにこの事業を厚別区に広げていきたい」と喜びの言葉がありました。

優秀賞は苫小牧工業高等専門学校・チームZoppiの「次世代型の中小規模飲食店向けのお客用注文アプリと食材発注支援システム」と本学会計ファイナンス学科3年の谷口優馬さんの「サツガク Cafe」がそれぞれ受賞。大学でのカフェ経営を提案した谷口さんは「カフェを通じて地域の方との交流機会を促進したい」と話しました。

本コンテストをきっかけに、学生たちの起業に対する興味・関心が高まり、将来の起業化に向けた行動へとつながることを期待します。



ウェルフェアトレードスイーツ「ショコラサンド」発売開始 —札幌市内の福祉施設とのコラボレーションにより開発—

本学フェアトレードサークルは、2020年10月に札幌市内の企業とのコラボレーションにより開発したオリジナルフェアトレードスイーツ「さっぽろゆめ結晶」を販売し、好評を博しました。この度、第2弾オリジナルフェアトレードスイーツとして、札幌市内の福祉施設とのコラボレーションにより「ショコラサンド」開発し、5月27日に新さっぽろ サンピアザ「光の広場」で開催された「第1回あつべつフェアトレードまつり」にて販売を開始しました。

「ショコラサンド」はフェアトレードのチョコレートや砂糖に加え、クッキー生地には米粉を使用したグルテンフリーのお菓子です。また、北海道のバター100%・栗山町酒井農場の卵など北海道産食材を使用し、コラボレーションいただいた福祉施設の方が製造しやすいよう包装や製造工程をシンプルにし、ウェルフェアトレードへの参画によって地域貢献・就労支援活動の推進に貢献できるよう企画会議を重ねて実現した商品です。

商品開発に携わったフェアトレードサークル（代表：経営学科4年 土井智香）の学生たちは、ショコラサンドを通じてフェアトレードが「買い物を通じた身近な社会貢献」であることを消費者の皆さまに体感していただくとともに「また食べたい」と思っていただくことで生産者も消費者もすべての人が笑顔になれる社会を作ることを目指しています、とコメントしています。



ショコラサンド
公式ウェブサイト



※ウェルフェアトレードとは「ウェルフェア（福祉）」と「フェアトレード（公正な取引）」を合わせて造られた言葉です。ウェルフェアトレードは適正な価格で取引を行い、一人ひとりの尊厳を尊重し、喜びや生きがいを感じながら自立できるように支援していく取り組みです。

販売価格：1袋 / 6個入り 300円（税込）

コンタクトケース回収（リサイクル）事業について

日常的に使用されるコンタクトレンズのプラスチック製ケースを捨てることなく、リサイクルして限りある資源を有効活用するため、コラボレーションセンターでは2023年2月より回収ケースを江別、新札幌の両キャンパスに設置しています。

これは道内の高等教育機関ではまだ3例しかない先進的な取り組みで、学生・教職員をはじめ施設を利用するすべての人に地球環境問題について考え、行動する機会を提供していくことが期待されます。

※ HOYA（株）アイケアカンパニーの「アイシティ eco プロジェクト」との協働事業



頑張った学生を応援する奨学・奨励金制度

スカラシップ特待生 14名、成績優秀者奨学生 34名、資格取得者奨学生 45名、課外活動特待奨励生 45名を採用

2023年度新入生のスカラシップ特待生、成績優秀者奨学生、資格取得者奨学生、課外活動特待奨励生が決定しました。スカラシップ入試制度によるスカラシップ特待生が14名、入試成績による成績優秀者奨学生34名、入学までの資格取得（英検・簿記など）による資格取得者奨学生45名、公募制指定スポーツ推薦などで入学した課外活動特待奨励生45名が採用されました。また、課外活動特待奨励生の継続については94名が決定しています。

さらに、昨年度の在学生のうちから様々な資格を取得した21名が資格取得者奨学生として採用されました。

【スカラシップ特待生】

人数	学科	免除額
14名	臨床心理学科7名、英語英米文学科2名、人間科学科1名、法律学科3名、経営学科1名	1年次の年間授業料

【成績優秀者奨学生】

人数	学科	免除額
34名	臨床心理学科13名、こども発達学科3名、人間科学科1名、英語英米文学科4名、法律学科4名、経済学科4名、経営学科5名	1年次の前期授業料

奨学生並びに奨励生は、大学生活においてより高い目標に向かって勉学や資格取得、課外活動に励むことが期待されています。

【資格取得者奨学生】

	人数	資格の種類	免除額
新入生	3名	日本語能力試験 N1 3名	入学金及び1年次授業料
	42名	日商簿記検定2級4名、全商簿記実務検定1級(会計・原価計算)10名、実用英語技能検定2級27名、日本語能力試験 N2 1名	入学金
在学生 (2022年度)	21名	実用英語技能検定準1級2名、TOEIC 900点以上1名、TOEIC 740点以上2名、日本語能力試験 N1 16名	年間授業料の半額

【課外活動特待奨励生】

	人数	種類	競技名
新入生	45名	第一種 13名 第二種 23名 第四種 4名 第五種 5名	硬式野球 13名、弓道 10名、ソフトテニス 5名、陸上競技 13名、バスケットボール 1名、書道 1名、放送局 1名、オホーツク管内高等学校定時制通信制生徒生活体験発表大会 1名
		94名	第一種 33名 第二種 61名

【2023（令和5）年度の予算編成方針】

財政再建計画が掲げる数値目標にもとづき、収入財源の確保と人件費等の経費節減により、収支構造の改善を目指します。

また、各部門の事業予算は、目標達成に必要な不可欠なものに対してその有効性、効率性、経済性を考慮して適正に配分します。さらに、教育・研究基盤の整備（内部充実）とブランドの構築に資する事業に対しては大学発展準備引当特定資産を活用し、予算を重点配分します。

1. 予算統制制度に従った編成と執行

- 1) 事業予算の編成にあたっては、予算統制制度の下で理事会と大学が連携し、法人予算と大学予算全体を見通した原案づくりを進め、予算の適正な配分を行います。
- 2) 予算の執行段階では、予算統制制度に従い、厳格な執行管理と機動的・弾力的な運用を通じた事業の適正かつ効率的な運営を行います。

2. 収入の増加

- 1) 入学者の獲得と退学率の改善によって収容定員の充足を維持し、年次計画的な学費改定とあわせて学費収入の着実な増加を図ります。
- 2) 収益事業の展開等、多様な収入財源の確保を図ります。
- 3) 教育振興のための寄附金募集に取り組みます。
- 4) 競争的補助金の戦略的な獲得を目指します。その実現に必要な予算を確保します。
- 5) 経常費補助金の増額を図ります。具体的には、全学部で学生定員を充足し、教育の質保証のための取組を強化することによって一般補助金と特別補助金の増額を目指します。
- 6) 受取利息の増加を図るため、安全かつ効率的な資産運用計画を策定し、実施します。
- 7) 間接経費の獲得を推進するために研究支援機能の強化を図ります。

3. 支出の適正化と事業の活性化

○部門別経常予算

- 1) 教育・研究・社会貢献及び管理運営に必要な経費は、基盤的経費として予算措置します。
- 2) 各部門の重点事業については、さらなる強化と新たな展開を図ります。
- 3) 新型コロナウイルス感染症への対応は、事業の目的を達成するため、従来の予算の範囲内で実施方法の見直しを進めるとともに、感染対

策に必要な予算があれば追加的に措置します。

○戦略的的事业予算

- 1) 中期計画（財政再建計画）の重点課題を中心に、教育研究の特色化やブランド化を図る戦略的な事業に対して予算を重点配分します。
- 2) 戦略的的事业予算は、部門別経常予算とは別枠で措置します。

○包括的予算制度

- 1) 事業の効率的かつ効果的な遂行を実現するため、予算項目に割り当てられた予算を超えて執行する必要が生じたときは、予算単位の予算総額の範囲内において、他の予算項目からの流用を認めます。
- 2) 2023年度は、広報入試部門・管財部門・グローバル部門を対象とします。

○人件費の圧縮

- 1) 人件費総額の圧縮を図ります。
- 2) 教職員数の適正化を図るための人事計画を具体化します。

○大学改革を担う教職員の能力開発と組織力の強化

- 1) 教職員は人的資本です。能力開発の経費を先行投資と考え、必要十分な予算を配分します。
- 2) 大学全体の組織力強化を図るため、FD（教員の能力開発）とSD（職員員の能力開発）を推進するとともに相互の連携を促進します。あわせて、法人運営適正化の観点からBD（理事会の経営力強化）の取組を進めます。

4. キャンパス整備事業の推進

- 1) 施設の修繕・改修、設備・機器・情報インフラの更新は、優先順位を付して計画的なメンテナンスサイクルを確立し、経費を年度間で平準化します。
- 2) 2つのキャンパスの総合的活用の方針と実施計画を定めたマスタープランを策定します。

【2023（令和5）年度予算の概要】

以上の方針に基づき、当年度収支差額は5億5,900万円の支出超過を見込んでおり、資金（キャッシュ）については5,420万円の減少を見込んでおります。先にも述べましたが、中期的に収支均衡を図るよう改善を行う所存です。

2023年度 科学研究費助成事業 （日本学術振興会）採択状況

科学研究費助成事業とは、文部科学省並びに独立行政法人日本学術振興会所管の競争的研究費です。本学からも下記の研究者が競争的研究費を獲得し、研究活動を活発に行っております。

（単位：円）

学部	研究代表者	研究種目	研究課題	交付決定額
人文	白杵 勲	基盤研究 (A)	ヘルレン川流域を中心とした匈奴国家中枢地の研究	繰越
人文	白杵 勲	基盤研究 (A)	囲壁施設・生産遺跡を中心とした初期遊牧国家の考古学的研究	19,630,000
職員	原田 寛之	奨励研究	降雪地におけるミリ波拠点間通信を用いたキャンパス LAN の実効性評価	480,000
経済経営	田代 歩	研究成果公開促進費 (学術図書)	消費税改革の評価－効率性と公平性の経済分析－	1,400,000
経済経営	石川 千温	基盤研究 (C)	クラウドによる機械学習を利用したエンrollmentマネジメントシステムの構築	延長
人文	Joao. C. Koch. Jr.	若手研究	Identifying and addressing students' SpLDs and potential SpLDs in English as a foreign language in Japanese higher education	延長
経済経営	小池 英勝	基盤研究 (C)	最適解の高速列挙によるコンテナ流通混雑問題の解決	延長
経済経営	岸本 宜久	若手研究	アイヌ語鶴川方言のフィールド調査およびデータの公開	520,000
人文	井上 大樹	基盤研究 (C)	地域子育て実践における「親理解」の学び	260,000
人文	横山登志子	基盤研究 (C)	フェミニストソーシャルワークの理論構築	910,000
経済経営	井上 仁	基盤研究 (C)	マイナス金利政策が銀行貸出および銀行収益性に与える影響	780,000
人文	奥田 統己	基盤研究 (C)	現地調査により残されたアイヌ語音声・筆録資料および未公開論文等の横断的整理と公開	1,300,000
人文	山田 伸一	基盤研究 (C)	19世紀後半の北海道・千島沿岸を中心とするラッコ・オットセイ猟に関する基礎的研究	650,000
職員	辻 由依	若手研究	発達障がい学生の自己理解促進を目的とした支援方法の検討	260,000
経済経営	大國 充彦	基盤研究 (C)	戦後復興期労働運動の分水嶺－パーソナル・ドキュメントの分析から	1,690,000
人文	大塚 宜明	基盤研究 (C)	北海道における黒曜石原産地開発と石材流通過程の解明：置戸産黒曜石を中心に	1,300,000
経済経営	王 佳星	若手研究	寒冷地世帯を対象とした世帯のエネルギー使用の地域特性に関する実証研究	650,000

保護者懇談会のご案内

保護者の皆さまと大学との情報交換、連携を深めることを目的として開催しております保護者懇談会を今年度は「旭川会場」、「函館・青森会場」、「本学会場」にて、希望される保護者の方をお招きし、実施する予定です。



本学の教育内容と最近の就職状況についてご説明申し上げるとともに、学生一人ひとりの修学状況を十分に踏まえた上で、学部担当教員より、お子様の修学状況（単位修得・成績等）をお話しさせていただきます。

開催の詳細は、以下のとおりを予定しています。

開催地	開催日	受付	保護者懇談会	会場
旭川	9月2日(土)	12:00	12:30～14:30	アートホテル旭川
函館	9月9日(土)	9:00	9:30～12:00	ホテル法華クラブ函館
青森	9月10日(日)	9:00	9:30～12:00	ホテル青森
本学	10月14日(土)	9:30	10:00～13:00	札幌学院大学 江別キャンパス
		12:30	13:00～16:00	札幌学院大学 新札幌キャンパス

札幌学院大学教育振興寄付のお願い

札幌学院大学は今年、学園創立77周年、大学開学55周年を迎えます。この歴史と伝統を踏まえ、今後も地域の発展を支える人材の育成に取り組んで参ります。



みなさまにおかれましては、本学が取り組む教育事業のさらなる充実のため、教育振興に関わる寄付金の募集についてご協力をお願いいたします。

寄付は専用用紙による申し込みとインターネット（本学ホームページ）上でのクレジットカード決済やコンビニエンスストアでの払込みによる申し込みにより可能です。寄付の詳細については本学ホームページをご覧ください。

寄付金のご協力で深く感謝▶▶▶札幌学院大学へ寄付のご協力をいただき、心より御礼申し上げます。ご寄付いただきました方々への感謝を込めご芳名を掲載させていただきます。

寄付者・ご芳名（掲載承諾者・敬称略・五十音順）2023.1.1～5.31			
青木 正利	今野 雅裕	中村 誠司	三谷 俊司
浅野 久男	佐藤 文昭	中村 輝夫	道下 幸治
大畑 揮義	白石 英才	橋詰 朋之	三津谷辰彦
片山 慎子	杉原 勝人	平松 雄介	村松 健二
加藤 清志	鈴木 邦夫	平山 和雄	山口マリ子
川部 勝	鈴木 理恵	藤田 繁三	由喜門眞治
北村 悟	谷 浩次	堀内 高	渡部百合子
熊原 堅一	出澤 広子	本間 雅登	
小林 貴之	中垣 悌	丸岡 愛子	ほか匿名26名
今野 寿幸	中村 重和	三浦 東也	※受配者指定寄付を のぞく

廣川 和 市 先生のご逝去について



去る2023年2月2日、本学の名誉教授であり、学園の監事である廣川和市先生（83歳）が、ご逝去されました。廣川和市先生は1968年に本学の前身である札幌短期大学に着任し、全学共通科目の「教育学」や教職課程科目を担当されておりました。また、札幌学院大学人文学部長、学校法人札幌学院大学理事を歴任し、退職後は長期に亘り監事を務める等、数々の功績を残し、学園の発展に大きく貢献されました。

この度の訃報に接し、先生のご生前の功績を偲び、心よりご冥福をお祈り申し上げますと共に、学園に対する多大なる貢献・ご尽力に対し、衷心より感謝申し上げます。

教職員人事

1. 任命（2023年4月1日付）

片山 一義 経済経営学部長
神谷 章生 法学研究科長

2. 採用（2023年4月1日付）

後藤 英之 経済経営学部准教授
照山 秀一 人文学部教授
米田 真 財務課
木下 直樹 広報入試課
近藤 葉 教育支援課
濱田 光 社会連携課

■採用教職員



後藤 英之



照山 秀一



米田 真



木下 直樹



近藤 葉



濱田 光

3. 退職（2023年3月31日付）

平澤 亨輔 経済学部教授
山本 純 経済経営学部教授
早田 和弥 経済経営学部教授
釣 晴彦 人文学部教授
甲斐 陽輔 社会連携課
飛田 哲也 教育支援課
松田 昇一 キャリア支援課
山口 清 広報入試課

4. 職員の人事異動

（2023年4月1日付）
広報入試課 入試係長
長谷川友則（国際交流課 国際交流係長）
国際交流課 国際交流係長
田巻 文乃（図書課 図書係長）
キャリア支援課
佐藤 秀之（広報入試課 入試係長）

（2023年5月31日付）
事務局長 中村 圭二（事務長）[新札幌]
政策推進課 斎藤 和郎（事務局長）

（2023年6月1日付）
事務長 [新札幌]
山本 勝（総務課長）
企画政策課長 斎藤 美雄（広報入試課広報係長）

総務課長 高橋 英行（総務課総務係長）

情報処理課長

辻 徹 [事務長との兼務]

総務課総務係長 伊原 珠希（総務課）

キャリア支援課キャリア支援係長

今野 亮介（キャリア支援課）

教育支援課長 [新札幌]

島田 尚規（情報処理課長）

図書課長 久保 真志（政策推進課長）

管財課管財係長

須貝 恵一（財務課財務係長）

情報処理課情報処理係長

大坂 卓（管財課管財係長）

教育支援課人文学部係長

斎藤久美代（キャリア支援課キャリア支援係長）

企画政策課 齋藤 恵子（広報入試課）

企画政策課 納谷あずさ（広報入試課）

教育支援課 佐々木祐介（学生支援課）

学生支援課 高橋 麻美（教育支援課人文学部係長）

キャリア支援課

小塚 雅志（教育支援課）

図書課 京谷 正博（図書課長）

管財課 三川 豊章（図書課）

※2023年6月1日付で「政策推進課」を「企画政策課」、「広報入試課」を「入試課」に名称変更しました。

オリジナルグッズ作成・販売サービス「SUZURI byGMO ペパポ」にて 大学オリジナルグッズのネット販売を開始

本学は、GMO ペパポ株式会社（本社：東京都渋谷区）が運営するオリジナルグッズ作成・販売サービス「SUZURI byGMO ペパポ」にて大学オリジナルグッズの販売を2022年5月26日より開始しました。

全国の本学卒業生をはじめとする本学のステークホルダーの皆さんに新しいロゴマークとタグラインに親しみをもっていただきたく、また、これまで以上に多くの人に知っていただきたく、「SUZURI byGMO ペパポ」にて大学オリジナルグッズのインターネット販売を行うことにしました。



専用サイトではロゴマークやタグライン「One life, Many answers」、グレーとイエローのグラフィックエレメントを使用したアクリルブロック、スマホケース、パーカー、ウエストポーチなど14種類の販売を開始しています。今後は「SUZURI byGMO ペパポ」の販売ラインナップと、本学のロゴマークやタグラインとのデザインの親和性を考慮しながら、順次グッズを追加していく予定です。

後援会評議員会を開催

去る5月20日、江別キャンパスにおいて2023年度後援会評議員会を開催しました。評議員会では、①2022年度事業報告並びに決算報告、②2023年度事業計画及び予算を審議し、全て承認されました。また、2022年度事業報告では、後援会報の発行、卒業生への記念アルバム配布、学生課外活動における活動補助等を行ったことが報告されました。

今年度も大学と協力しながら各種事業を推進して参りますので、引き続き、皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。なお、評議員会の詳細は、大学のホームページ及び後援会報（2023年8月1日発行予定）に掲載しますのでご覧ください。

卒業生この人

白老町長
大塩 英男さん



2023年3月に行われた町長選挙を経て白老町長に就任された大塩英男さんにお話をお聞きしました。大塩さんは1994年に本学法学部を卒業後、胆振管内白老町役場に入職し、税務課長や企画財政課長として町政の根幹を29年にわたって経験され、近年では民族共生象徴空間「ウポポイ」の周辺整備に携わりました。

Q. 白老町役場に就職されたきっかけは何か

私は小さい頃から社会の役に立ちたい、人の役に立ちたいという思いがあり、法学部法律学科在籍時は「行政法」を専攻し、白藤博行先生にお世話になりました。「行政法」とは行政活動をするために必要な法律で、この学びをきっかけに役場職員になりたいと思いました。白老町を選択したのは、いろいろな分野で産業が形成され、今後の発展性に魅力を感じたためです。また、私の出身地である室蘭からも近く、安平町に住んでいた祖父母の家に行く際に白老町を通ることがあったので縁を感じていました。

Q. 白老町長に立候補をしたきっかけを教えてください

白老町長に立候補したのはいろいろな方からお声がけがあったことや、白老町の人口が減少しているこの大きな転換期に、29年間役場で町の発展のため働いてきた私が「町の将来のためにできることがないか」と使命感や責任感が芽生えたことがきっかけになりました。また、白老町に身寄りのない私に対して町民の皆さんは温かく迎え入れてくれて、いろいろな面でお世話になり、人生の半分以上は白老町で過ごしているため、何か恩返しをしたいと思い立候補を決意しました。

Q. これまでの仕事に関するエピソードを教えてください

2012年頃から一時期、町の資金が枯渇し、財政を健全化しなければならなくなり、いろいろな行政改革をするために施策を練る部署に所属していました。様々な事業を縮小せざるを得なくなり、町民の皆さんの理解を得るまでになかなか苦労しましたが、「将来の町づくりのため」と続けた施策が実を結び、安定的な財政運営ができるようになりました。

企画財政課にいたときは、お金を使っていく企画部門と、一方でお金を管理し財政規律を守る財政部門というアクセルとブレーキの関係にある部署だったため、とても苦労しました。

Q. 今後の目標を教えてください

出生数がどんどん減っている状況で「若い人たちが町で暮らしてほしい」という町民の皆さんの大きな声もあり、行政としては、「子どもを産み育てたい」と思っていたような土壌づくり、子育て支援策に力を入れて取り組んでいきたいと思っています。やはり、町民の皆さんの声を聞いて、課題一つ一つに向き合い、決断していくことが町長の仕事であり、将来の町づくりに繋がると考えています。

Q. 札幌学院大学に入学して良かったこと、印象に残っている思い出をお聞かせください

緑豊かな大学の近くにあって寮に入り、1年だけですが共同生活をし、同期や先輩とも仲良くさせてもらったことが思い出深いです。朝食の食券をお昼に学生食堂で使えたのでよく利用していました。また、大学入学を機に初めて親元を離れて、大人として、人生で一番成長できた時期だと感じています。今でも大学時代の友人とは繋がりがあり、一生の友だちです。学生時代はそんな人たちと出会える時期でもありました。人と明るく接することが得意だったため、白藤先生のお知り合いの方から紹介を受けて、家庭教師や塾の講師などのアルバイトもしていました。

Q. 後輩である本学の学生たちにメッセージをお願いします

大学時代というのは人生において一番充実した時間を過ごすことができます。役場に入職した当時は白老町には身寄りもなく、学生時代がとても楽しかったので、週末は毎週のように札幌に帰っていたくらいです。在学中はそういうふうには思わないかもしれませんが、「充実した時間を過ごしている」という認識を持っていただきたいですし、いろいろな人たちと話をすることが大事だと思います。役場で職員採用に携わっていたときに何を見るかというと「この人はコミュニケーション力があるかな」ということでした。社会人になる上でやはり大事なものはコミュニケーションがとれることですので、いろいろな友だちと、大いに食べて飲んで、大学生活を楽しく過ごしていただけたらと思います。

Information

教員著書紹介

『喪失のこころと支援』

山口智子 編著；小林茂（心理学部教授） ほか著

出版社：遠見書房
 出版年：2023年1月
 ISBN：978-4-86616-159-4
 価格：2,860円
 頁：149ページ

同書に「HIV/AIDSと未知なるものへの不安と喪失」を寄稿させていただきました。

私がHIV関連のカウンセリングに携わるようになり7年ほど経ちましたが、この疾患が現在も世相を映し出す病のひとつであると感じています。HIV治療の問題だけではなく、社会的問題を含み、私たちの社会の在り方が問われるものであることを述べました。



【入試情報】大学進学セミナー

札幌学院大学では、高校生の進路選択、進学準備を整えるきっかけづくりを目的に、10会場で「大学進学セミナー」を開催します。

大学進学セミナーでは、学科紹介、入試制度説明、個別相談（学生生活、資格・就職、奨学金など）について専門スタッフがご案内します。

遠方のためオープンキャンパスへのご参加が難しい高校生、保護者、教員の皆さまのお越しをお待ちしています。

なお、全ての会場で事前申込制となっています。

お申し込み方法など最新情報につきましては本学公式ホームページをご確認ください。



開催日程	開催地	会場	時間
7月23日(日)	八戸	ユートリー (VISIT はちのへ)	14:30～16:30 (受付 14:00～)
7月24日(月)	盛岡	いわて県民情報交流センター アイーナ	16:00～18:00 (受付 15:30～)
7月25日(火)	秋田	秋田拠点センター アルヴェ	16:00～18:00 (受付 15:30～)
8月2日(水)	室蘭	FKホールディングス 生涯学習センター きらん	16:30～18:30 (受付 16:00～)
9月23日(土)	旭川	ときわ市民ホール	12:30～15:00 (受付 12:00～)
9月24日(日)	北見	北見芸術文化ホール	10:30～13:00 (受付 10:00～)
9月30日(土)	帯広	道新ホール帯広	12:30～15:00 (受付 12:00～)
9月30日(土)	函館	函館コミュニティプラザ G スクエア	13:30～16:00 (受付 13:00～)
10月1日(日)	釧路	釧路ロイヤルイン	10:30～13:00 (受付 10:00～)
10月1日(日)	青森	青森県観光物産館 アスパム	10:00～12:30 (受付 9:30～)

第51回大学祭「光曜祭」開催のご案内

札幌学院大学
 第51回★光曜祭
 入場無料
 楽しい企画が盛り沢山!!
 6.24(土)開催
 ビンゴ!音楽!ゲーム大会!
 豪華!お笑いライブ トム・ブラウン 15時~出演予定!

日時 6月24日(土) 10:00～19:00

場所 札幌学院大学 江別キャンパス

住所 〒069-8555 北海道江別市文京台 11 番地

駐車場が使用できます!

第51回 札幌学院大学大学祭 実行委員会
 お問い合わせ：札幌学院大学 学生支援課
 TEL：011-375-8282 E-mail：G_gakusei@ims.sgu.ac.jp

【入試情報】オープンキャンパス

日程	
6月11日(日)	【リフレクション入試・学校推薦型選抜説明会】
7月16日(日)	【学びLIVE!】
9月16日(土)	【学校推薦型選抜対策講座】
12月2日(土)	【サツガク模試】
2024年3月20日(水・祝)	【サツガク入門】

お申し込み方法など最新情報につきましては本学公式ホームページをご確認ください。



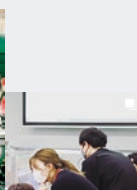
SNS 情報

Instagram



Pick Up!

Instagramの投稿の一部をご紹介します!



Facebook



twitter



YouTube



この広報紙は、震災復興型カーボンオフセット用紙を使用することにより、CO2削減活動ならびに東日本大震災被災地復興を応援しています。